

リフトが支柱に接触

破損

2018年度版

■ 物損事故報告 (第一報)

ヒヤリ事故報告

クレーム報告

物流部長	部門長	安全担当	発信部門担当	作成者
鈴木	永吉	清水	渡邊	大橋

発信日:2018年7月18日

発信事業所:コマツ物流(株) 東日本物流部

発信部門:郡山物流課

フォークリフトがクレーン支柱に接触、損傷

- 発生日時 2018年 7月 13日(金) 16時_45分頃 天候: 晴れ
- 発生場所 コマツ郡山工場内 コマツ物流エリア 梱包棟内クレーン作業場
- 事故当事者 所属:コマツ物流(株)東日本物流部郡山物流課 職種:倉庫工
年齢:52歳 勤続年数:6年4ヶ月 経歴年数: 6年
免許取得・技能講習受講後: 3Q年経過
社員区分: 正規社員 期間社員 派遣社員 その他 ()
- 事故概要 (5W1Hで記入)
7月13日 16:45 当日出荷予定のシリンダー707-01-00930(6本)に対し1本生産待ち状態だったが路線便出荷時間に間に合わず翌14日(土)に出荷する事に変更。そこで定時頃に出てくる製品1本を、コマツ物流エリア梱包棟内のクレーン作業場奥にあった5本とあわせて梱包する為、その5本をクレーンの下に引き出そうと3tフォークリフトでクレーン作業場に進入した。
16:48 クレーン作業場内に進入しようとして通路から右折した際、天井クレーン(1t)の支柱とフォークリフトのマストガード右側が接触し、クレーン支柱を押し込ませた。
16:50 当事者→班長→出荷T主任へ事故報告。
同時に、当該クレーンを使用禁止とし、全員に注意喚起及び看板表示実施。
16:55 郡山物流課長→出荷チーム長、郡山物流課安全担当(共に出張中)に事故報告。
17:00 郡山物流課長→東日本物流部長に事故報告。

18:10 郡山物流課長→本社安全物流部長へ事故報告(メール)。

5. 状況写真 (写真がない場合ポンチ絵でも可)



この場所に
あった製品を
運搬しよう
とした。



西側入り口から、クレーン作業場内にフォークリフトで
進入し、クレーン下(右奥)の製品を見ながら弓なりに
フォークリフトを走行させ、バックレストがクレーン支柱と衝突。



- 事故の原因
 - クレーン下に作業物が無かった為、対象製品へ作業場をショートカットしようとしてしまった。
 - 柱の存在認識はあったが、対象製品を見ながら走行し、マストに柱が隠れ死角となり柱を失念してしまった。
 - 作業員1名の年休があり、出荷製品の遅れ、定時までには終わらせたいとの原因もあり焦りが生じた。
 - 建屋内の倉庫速度「5km」は認識していたが、焦りもあり速い速度で衝突してしまった。
- 暫定対策
 - 7/18 朝礼で報告し、課員全員に建屋内の速度遵守を注意喚起。
 - 10:30 フォークリフト作業員全員を招集し暫定対策を協議
 - 当該作業員においては、当面の間、フォークリフト運転を禁止とする。※今後については別途協議
 - 柱にトラテープを貼り、注意喚起を行う。
 - 柱のフォークリフト目線位置にA3横で注意喚起看板を設置
 - 柱前に注意喚起表示を付けたコーン(邪魔棒)を設置
 - 上記を7/18中に実施完了予定
 - 暫定対策協議時に、再度建屋内外のフォークリフト速度厳守をあらためて注意喚起した。
- 事故への対応